

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業			シート番号	014-025
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
				課	評価責任者(課長名)
					橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法第6条の3第4項			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	<p>新生児・乳児のいる家庭では、母親は出産時の疲労に加えて、新たな育児負担により心身の変調を来しやすく不安定な時期であるにもかかわらず、少子化や核家族化により、周囲から支援を受けることが困難な状況にある。特に母親の育児に対する不安やストレスが大きく、産後うつ発症やひいては児童虐待の一因となることが指摘されている。このことから、厚生労働省が平成19年に事業創設。本市では平成20年2月から西区でモデル実施を行い、平成21年度から全区で事業実施。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	生後4か月までの乳児のいる家庭			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	訪問により把握した支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で健やかに育成できる環境整備を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育てに関する様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結びつける。</p> <p>低出生体重児・多胎児などの家庭や新生児訪問指導を希望された家庭へは保健師または助産師が訪問し、その他の家庭へはこんにちは赤ちゃん訪問従事者(民間保育施設の保育士等)などが訪問する。</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		民間保育施設				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	3,680	2,992	3,729	2,358	2,817	2,437	2,946
主な事業費内訳								
委託料	千円	1,775	1,185	1,775	1,202	1,185	980	1,185
消耗品費	千円	900	940	890	448	719	490	719
その他	千円	1,005	867	1,064	708	913	967	1,042
財源内訳								
国・府支出金	千円	3,680	2,992	3,729	2,358	2,817	2,437	2,946
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他()	千円							
一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
12 人件費 (b)	千円	16,830	17,214	17,194	11,340	11,040	11,210	11,660
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	20,510	20,206	20,923	13,698	13,857	13,647	14,606

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業	シート番号	014-025
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	訪問時は子育て支援情報の提供を行うだけでなく、支援の必要な方を子育て支援サービスの利用につなげることができた。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		訪問・情報提供実施率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	95	95	95	
				達成率	95%	95%	95%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		保健師、助産師、全戸訪問従事者実施分の合計					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	訪問・情報提供実施件数(民間保育施設への委託分)	件	2,370	2,404	1,960	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	20,206	13,698	13,647	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,526	5,698	6,963	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
	備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	訪問率の目標値を概ね達成できている。訪問できなかった家庭については、保健センターから電話確認を行ったり、4か月検診等でフォローしている。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業	シート番号	014-025
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は、すべての乳児のいる家庭を訪問することで、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い、子育ての孤立化や児童虐待を未然に防止し、必要なサービスにつなげる事業であるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は、すべての乳児のいる家庭を訪問することで、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い、子育ての孤立化や児童虐待を未然に防止し、必要なサービスにつなげる事業であるため。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 全ての対象家庭を訪問する事が、事業趣旨である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 訪問時の対応方法等の作成・周知を既に実施している。 新型コロナウイルス感染症拡大状況下において、ビデオ通話等の補助的な活用。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ・全ての政令指定都市において本事業を実施している。 ・低コストで委託発注を行えている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
			所見 効果的・効率的に事業を実施できるよう関係機関との連携をより強化するとともに、訪問後、育児支援ヘルパーなど他事業との連携を図りながら事業を進めていく必要がある。また、各区の子育て支援課と保健センター等関係機関との情報共有を行うことで連携を深め、支援が必要な家庭に対してより適切な対応が行えるようにしていく。	